

## 6月15日（土） 野田村支援・交流活動報告

担当：日比野愛子

6月15日（土）の支援・交流活動では、学生5名、一般20名、教員1名、計26名が参加しました。（途中、野田村役場から、東京学芸大学の山口恵子先生も合流）。普段よりも、場所やルート確定に手間がかかり、野田村役場に到着したのは10時20分頃となりました。26名のうち、7名が児童向けの学習支援活動、19名が集会所での演奏会（尺八：境道三先生、お琴：琴サークル「和（なごみ）」）とその後の茶話会に参加しました。



野田中学校仮設集会場には、10時45分頃に到着しました。集会所で、お琴の音合わせを行ない、11時過ぎに演奏を開始しました。年配の女性14名程度が聴きにきていただいて、楽しまれている様子でした。ただ、残念ながら、開始時間が遅れたこと、活動終了間際に仮面ライダーアマゾン役の俳優、オカザキさんが慰問に訪れたことから、茶話会の時間を取ることができませんでした。

お昼は、「かまどのつきや」さんからお弁当を届けてもらい、学習支援グループは、センター内で、交流グループはバスの中で、食べました。

午後は、南浜地区の公民館に移動し、同じく、演奏会を実施しました。南浜地区の公民館は、今回、はじめて活動を実施しましたが、女性13名、男性2名と、多くの方に来ていただくことができました。午後の部では、演奏時間を短縮したこともあり、演奏会後に演奏者・一般の方と、村の方々が交流する時間をとることができました。村の方々と話したところ、「お琴は、知らない曲でもなじみがある」、「一緒に歌えて楽しい」といった感想を聞くことができました。



15時に役場前で学習支援組と合流し、復興住宅の様子を見学して、帰途につきました。帰りのバスの中では、「今回初めて参加したが、野田村の方々にあたたかく迎えてもらい、また続けて交流したい」という声が多く聞かれました。